

---

# JFEシステムズ株式会社

2011年3月期上期(4月～9月)

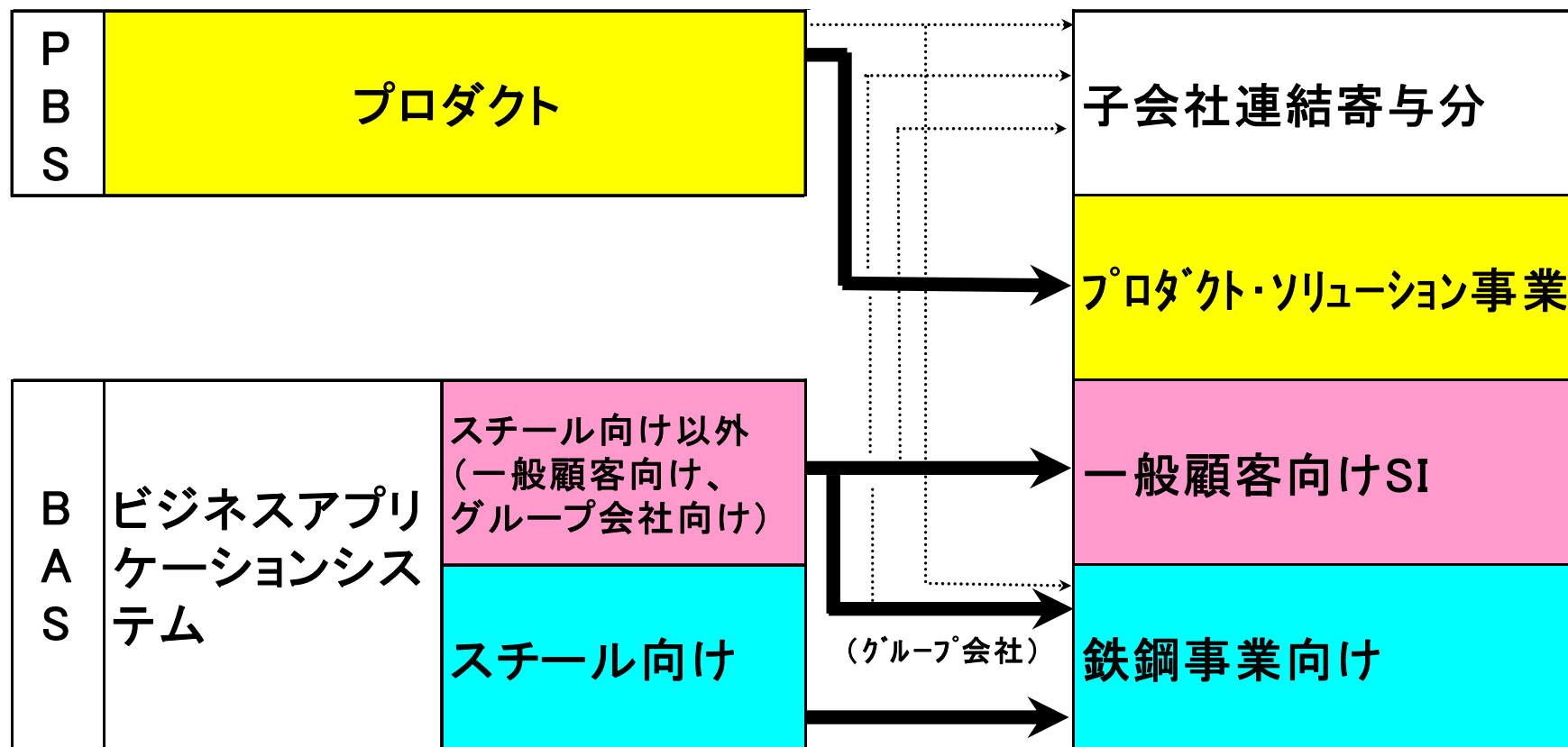
決算説明会

2010年10月25日

# 当資料における事業セグメント変更①

当社及び連結子会社は、新セグメント会計基準に従い、第1四半期連結会計期間より、**情報サービス単一セグメント**としている

今後は、売上高については、経営管理の実態に合わせて、下記事業セグメントにて内訳を表示していく



BAS:ビジネスアプリケーション・システム事業

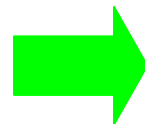
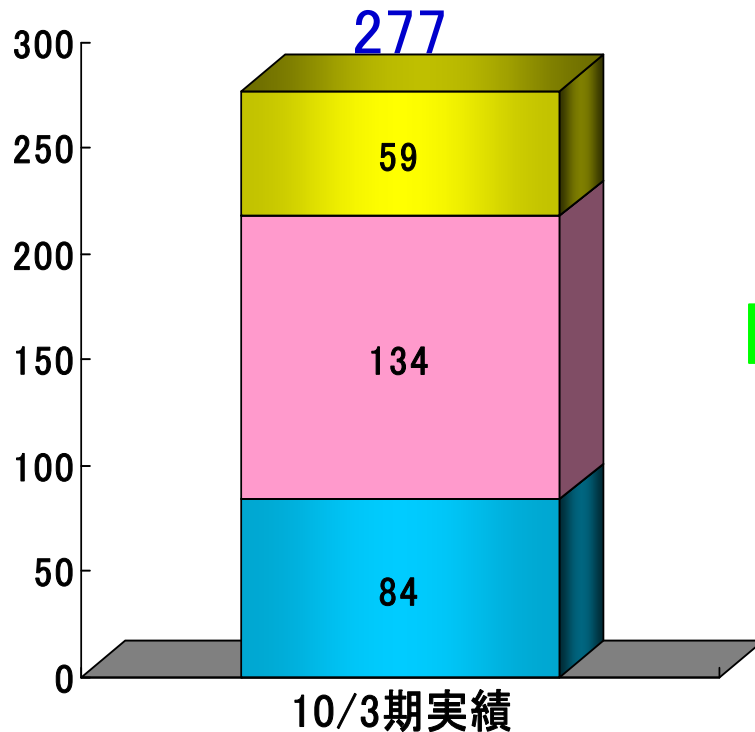
PBS:プロダクトベース・ソリューション事業

# 当資料における事業セグメント変更②

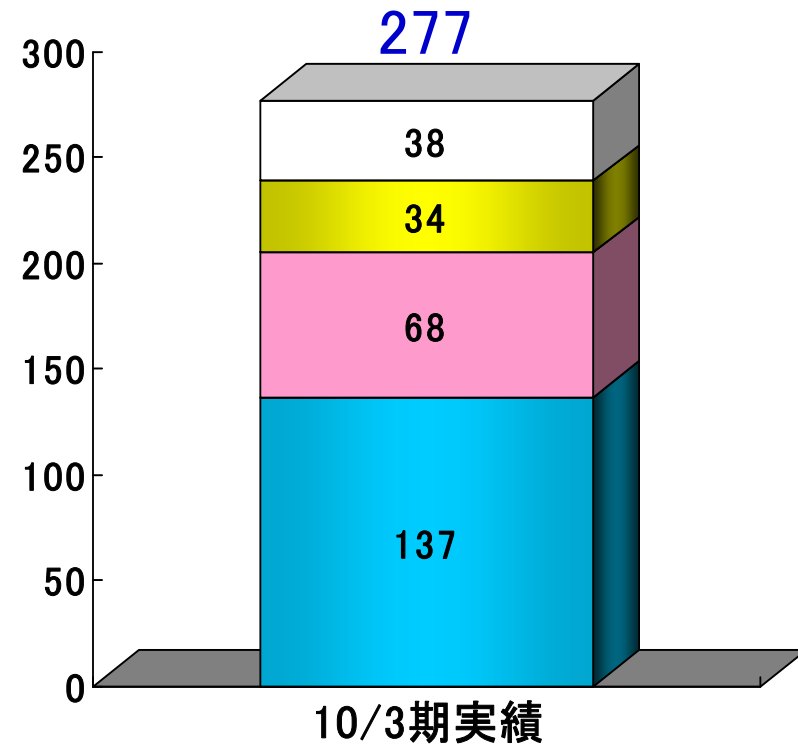
## <連結売上高>

PBS:プロダクトベース・ソリューション事業  
 BAS:ビジネスアプリケーション・システム事業

- PBS
- BAS(スチール向け以外)
- BAS(スチール向け)



- 子会社連結寄与分
- プロダクトベース・ソリューション事業
- 一般顧客向けSI
- 鉄鋼事業向け



# 目次

---

- |                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| I . 2011年3月期上期<br>(4月～9月)決算概況    | P 5        |
| II . 2011年3月期業績見通し               | P14        |
| III . 今後の事業戦略について<br>(補足資料:単体損益) | P21<br>P32 |

---

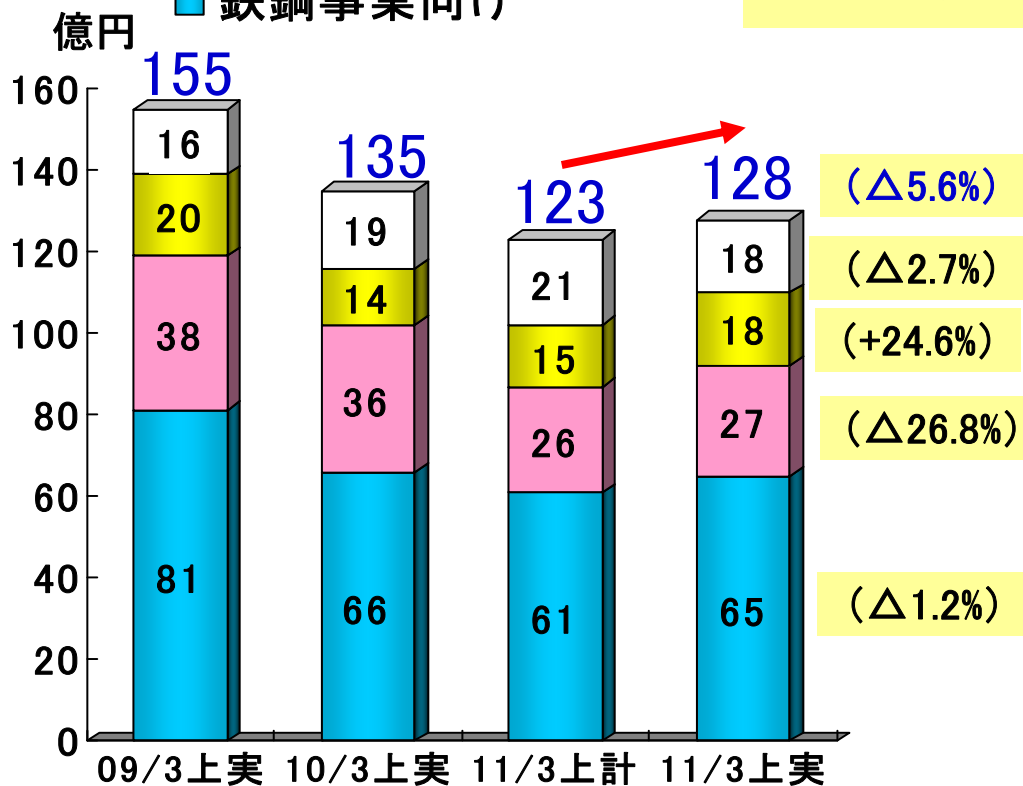
# I . 2011年3月期上期 (4月～9月) 決算概況

# 2011年3月期上期業績の概要

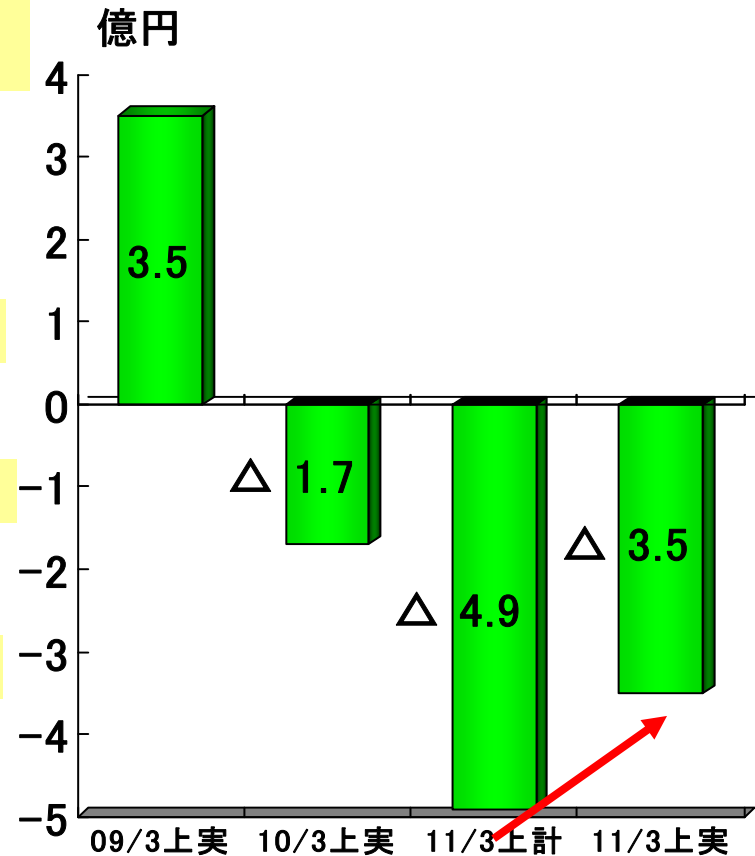
前年同期比で減収減益。計画比では上回っている。

## <連結売上高>

- 子会社連結寄与分
- プロダクト・ソリューション事業
- 一般顧客向けSI事業
- 鉄鋼事業向け



## <連結経常利益>



# 2011年3月期 **上期業績** (連結: 計画比)



鉄鋼事業向け、プラダ外・ソリューション事業等で計画を上回ることとなった

単位: 百万円

	計画	実績	増減	
			金額	率
売上高	12,290	12,767	477	3.9%
営業利益	△ 490	△ 366	123	-
経常利益	△ 490	△ 349	140	-
(経常利益率)	△ 4.0%	△ 2.7%	-	-
四半期純利益	△ 290	△ 206	83	-

# 2011年3月期上期業績

## (連結:前年同期比)

前年同期に比べ、さらに収益が悪化

単位:百万円

	2010/3 上期	2011/3 上期	増減	
			金額	率
売上高	13,525	12,767	△ 757	△ 5.6%
売上総利益	2,052	1,859	△ 193	△ 9.4%
(売上総利益率)	15.2%	14.6%	-	-
営業利益	△ 169	△ 366	△ 197	-
経常利益	△ 169	△ 349	△ 179	-
(経常利益率)	△ 1.3%	△ 2.7%	-	-
特別損益	31	-	△ 31	-
四半期純利益	△ 93	△ 206	△ 112	-

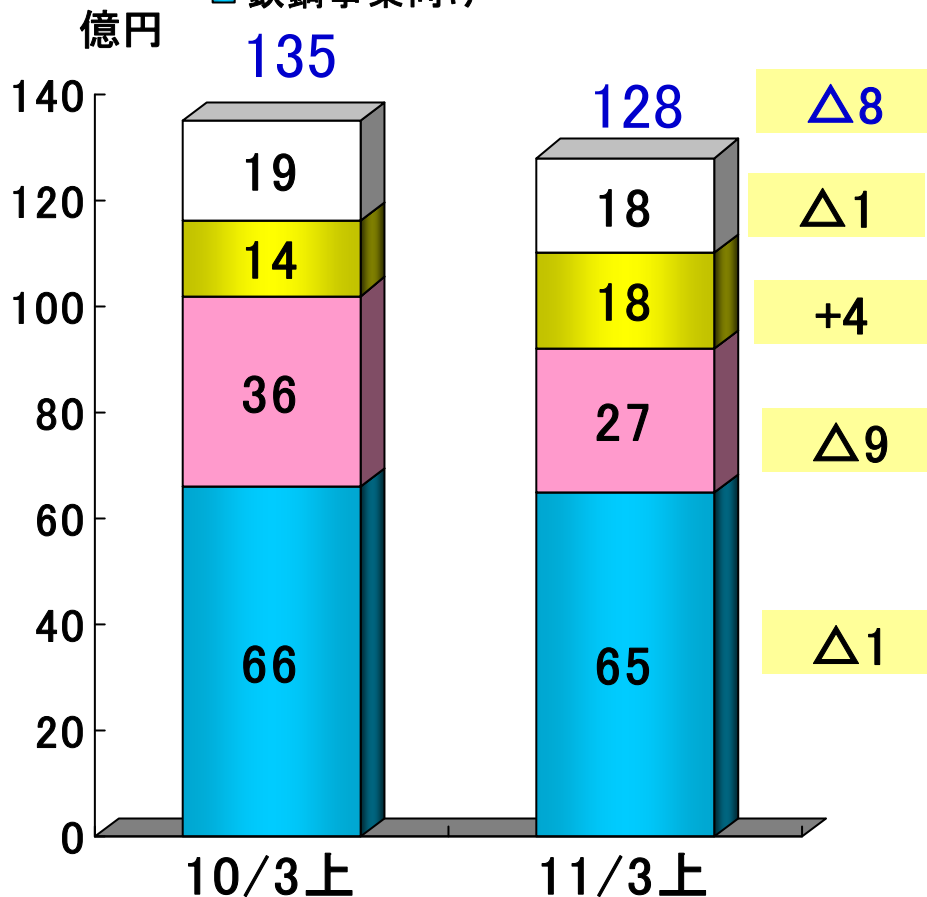
訴訟損失引当金戻入



# 2011年3月期上期

## 売上高増減の内訳 (連結: 前年同期比)

- 連結子会社寄与分
- プロダクト・ソリューション事業
- 一般顧客向けSI事業
- 鉄鋼事業向け

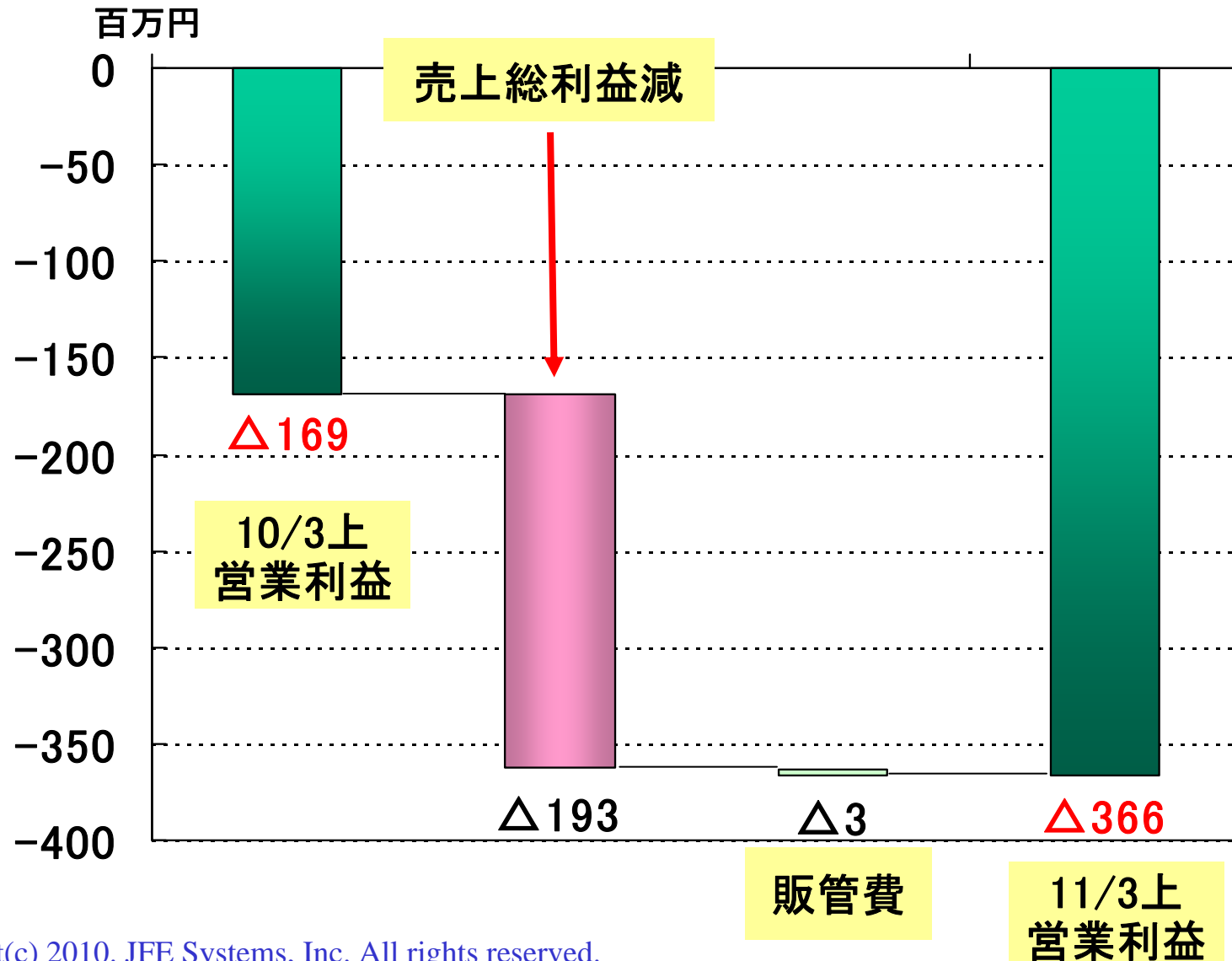


プロダクト・ソリューション事業 増		億円
・食品		+2.4
・電子帳票		+0.8
・コンタクトセンター		+0.3
・その他		+0.5
<b>合計</b>		<b>+4.0</b>

一般顧客向けSI事業 減		億円
・製造流通向け		△6.3
・金融向け		△2.7
<b>合計</b>		<b>△9.0</b>

2011年3月期 **上期**

営業利益増減の要因整理 (**連結: 前年同期比**)



# 2011年3月期 **上期**

## 売上総利益増減の要因 (**連結: 前年同期比**)

百万円

売上総利益増減要因 (○増益、△横ばい、×減益)	影響額
<p>＜鉄鋼事業向け、一般顧客向けSI事業、連結子会社寄与分＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>× JFEスチール向け、同グループ会社向けを含めた輸出型製造業および銀行向けを中心とした主要顧客の情報システム投資抑制ならびにコストダウン推進により売上高がさらに減少。</li> <li>× 競争激化による価格条件の悪化やJFEスチール向け大型リフレッシュ案件のレガシーシステム領域での想定外コストの発生による利益率の低下。</li> </ul> <p>＜プロダクト外・ソリューション事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子帳票、人事給与、BI、コンタクトセンター等は堅調。</li> <li>○ 食品は品質管理システム (Mercrus) 以外の基幹SI案件にも発展。</li> </ul>	
合計	△193

# 2011年3月期上期

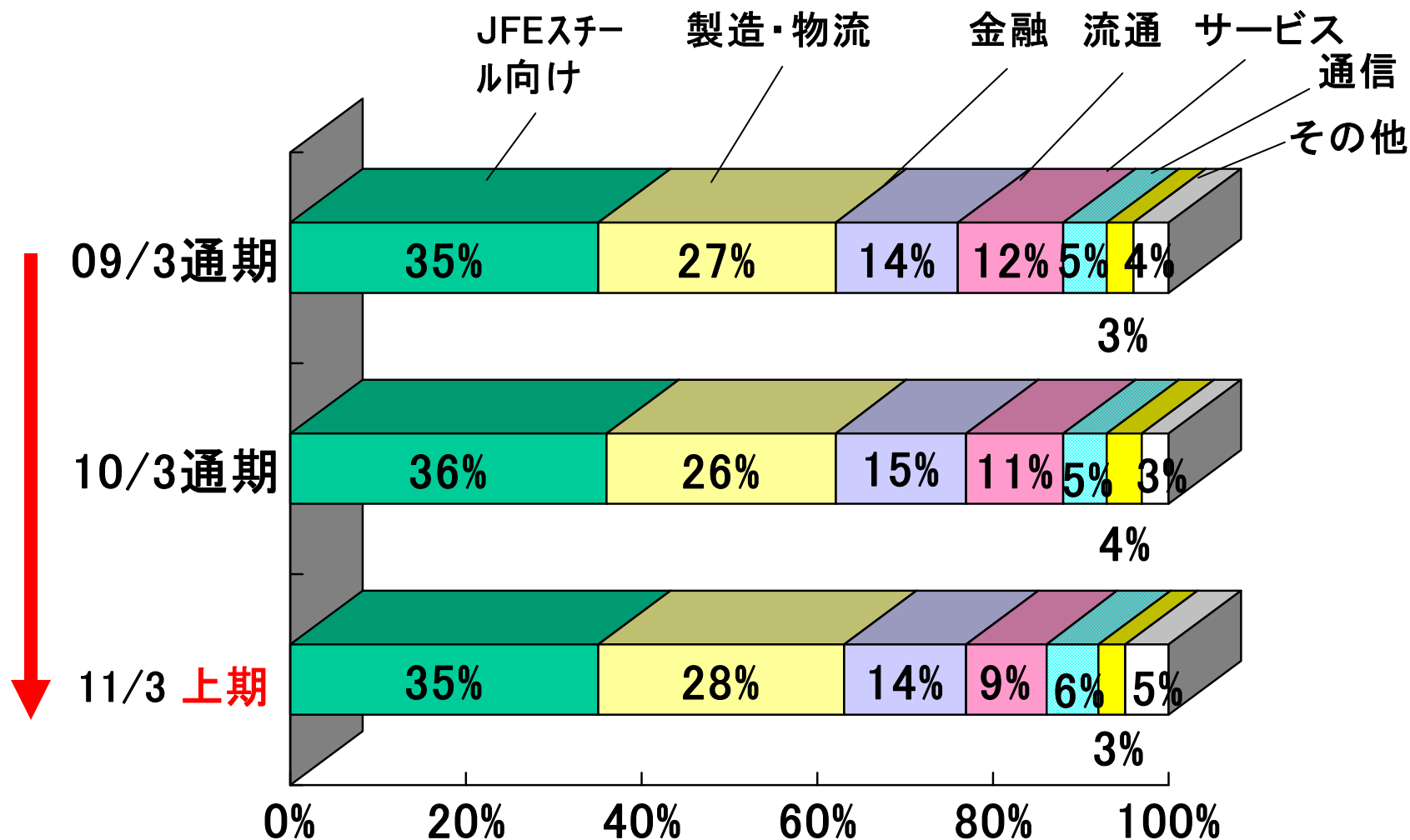
## 経営指標(連結:前年同期比)

単位:百万円

	2010/3 上期	2011/3 上期	増減	
			金額	率
借入金	0	0	0	-
自己資本	8,293	8,262	△ 30	△ 0.4%
総資本	14,810	14,881	70	0.5%
自己資本比率	56.0%	55.5%	-	-
ROE	△ 1.1%	△ 2.5%	-	-
従業員数(人)	1,545	1,533	△ 12	△ 0.8%
売上高/人	8.8	8.3	△ 0.4	△ 4.9%
経常利益/人	△ 0.11	△ 0.23	△ 0.12	-

# 2011年3月期 **上期**

## 販売先業種別売上高構成 (単体)



---

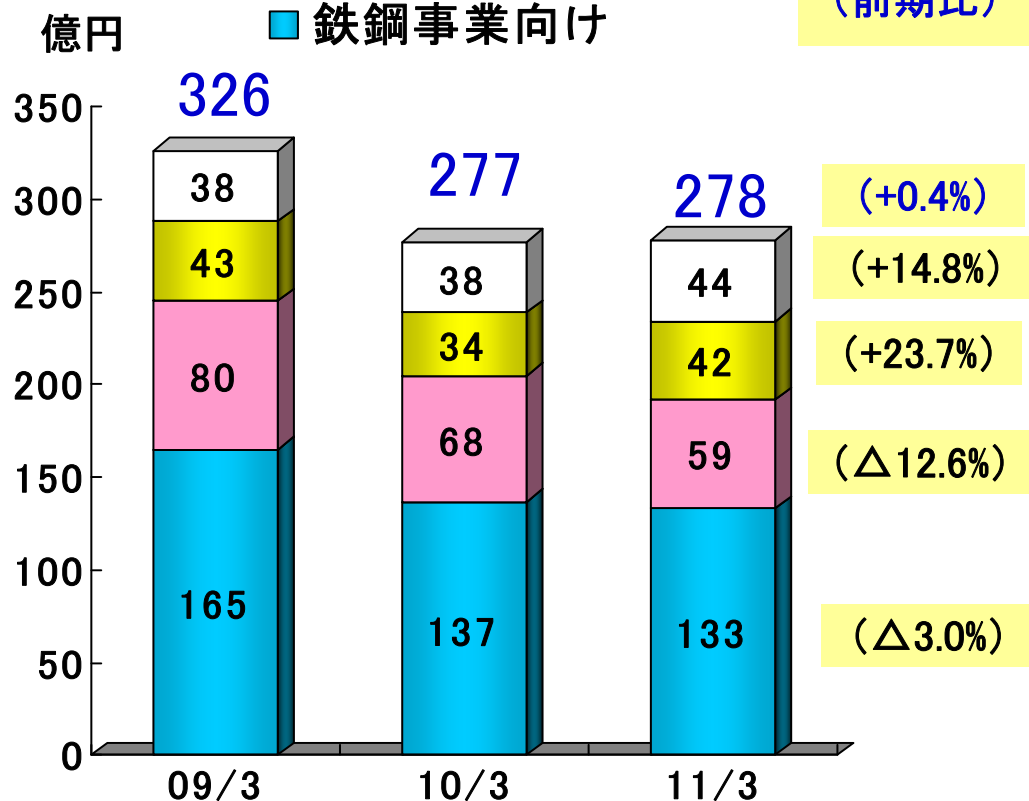
# Ⅱ . 2011年3月期 業績見通し

# 2011年3月期収益見通し概要

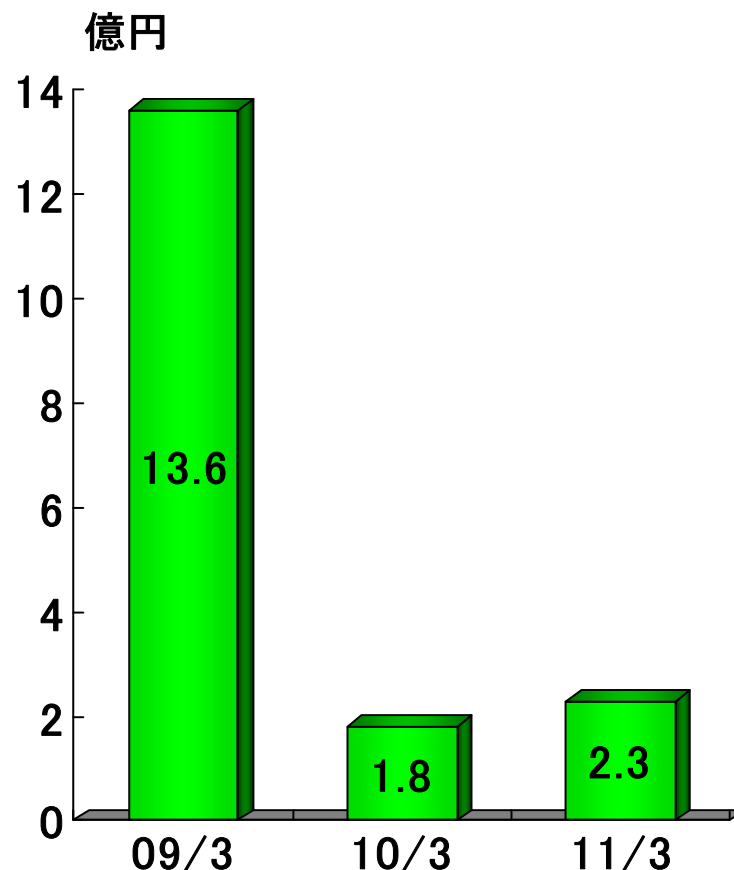
前期並みの売上/損益を確保する

## <連結売上高>

- 子会社連結寄与分
- プロダクト・ソリューション事業
- 一般顧客向けSI事業
- 鉄鋼事業向け



## <連結経常利益>



# 2011年3月期見込み(連結:前期比)

単位:百万円

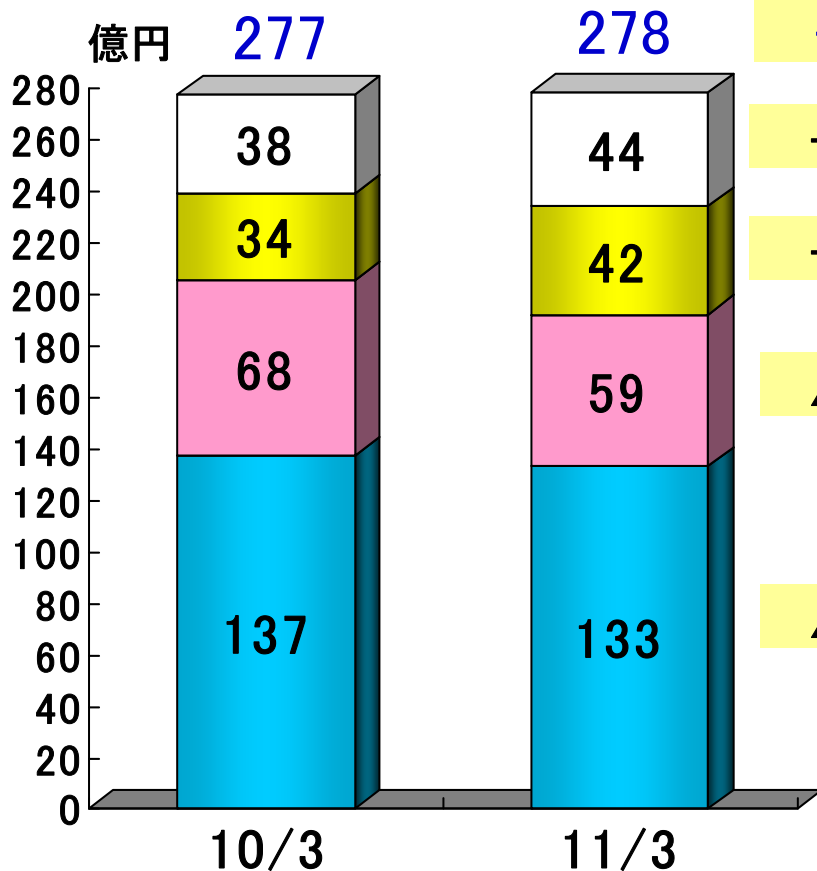
	2010/3 実績	2011/3 見込み	増減	
			金額	率
売上高	27,714	27,820	106	0.4%
売上総利益	4,463	4,570	106	2.4%
(売上総利益率)	16.1%	16.4%	—	—
営業利益	182	240	58	31.9%
経常利益	181	230	49	27.1%
(経常利益率)	0.7%	0.8%	—	—
当期純利益	196	90	△ 106	△ 54.1%
EPS(円/株)	2,498	1,146	△ 1,352	△ 54.1%



# 2011年3月期

## 売上高増減の内訳(連結:前期比)

- 子会社連結寄与分
- プロダクト・ソリューション事業
- 一般顧客向けSI事業
- 鉄鋼事業向け



子会社連結寄与分増減  
・ITインフラ等の増収を見込む

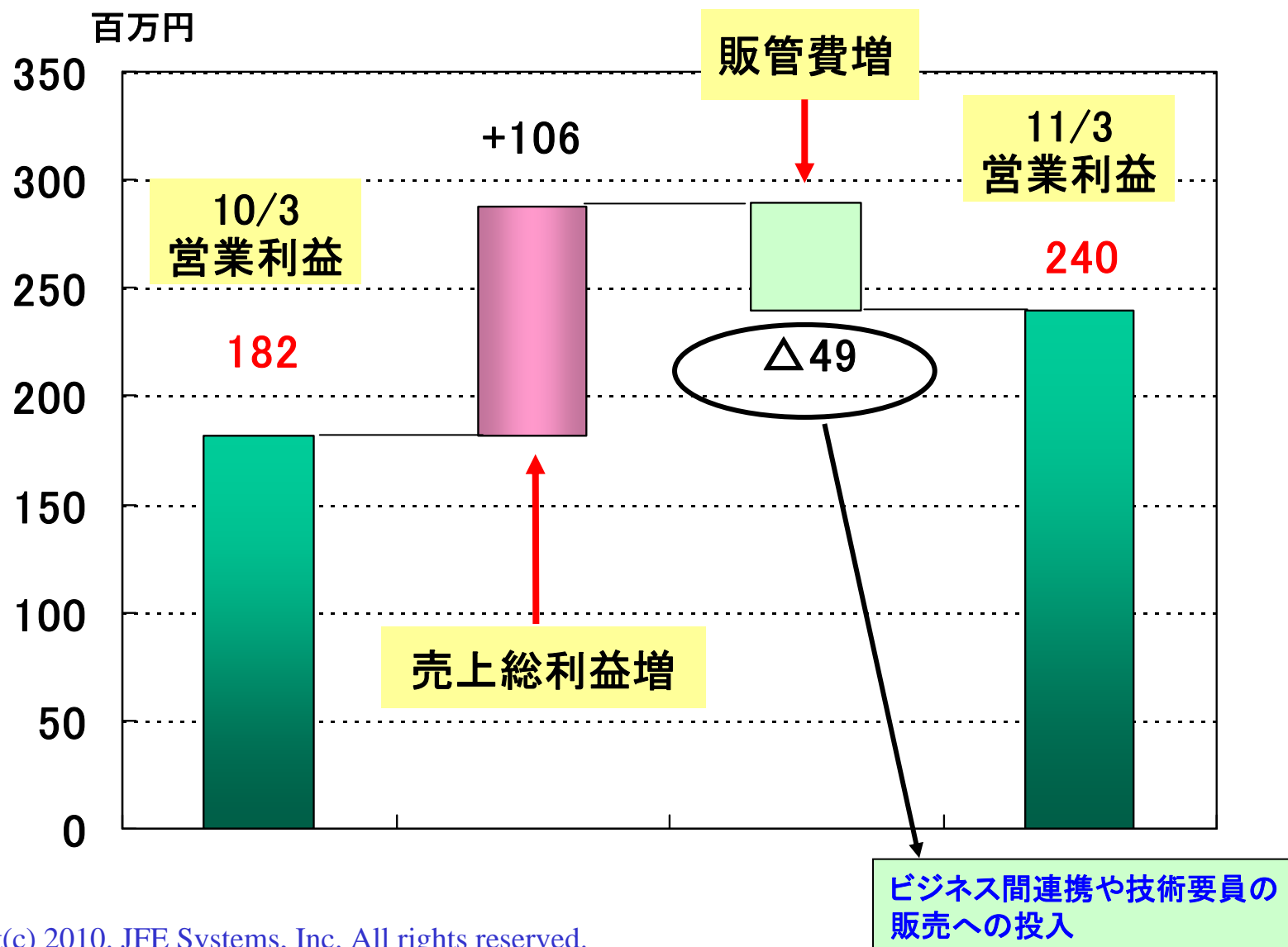
( )内:下期

プロダクト・ソリューション事業	増	億円
・食品	+4.0	(+1.6)
・電子帳票	+2.5	(+1.7)
・人給	+1.1	(+1.0)
・その他	+0.4	(△0.3)
<b>合計</b>	<b>+8.0</b>	<b>(+4.0)</b>

一般顧客向けSI事業	減	億円
・製造流通向け	△5.8	(+0.5)
・金融向け	△3.2	(△0.5)
<b>合計</b>	<b>△9.0</b>	<b>(0.0)</b>

# 2011年3月期

## 営業利益増減の要因整理 (連結: 前期比)



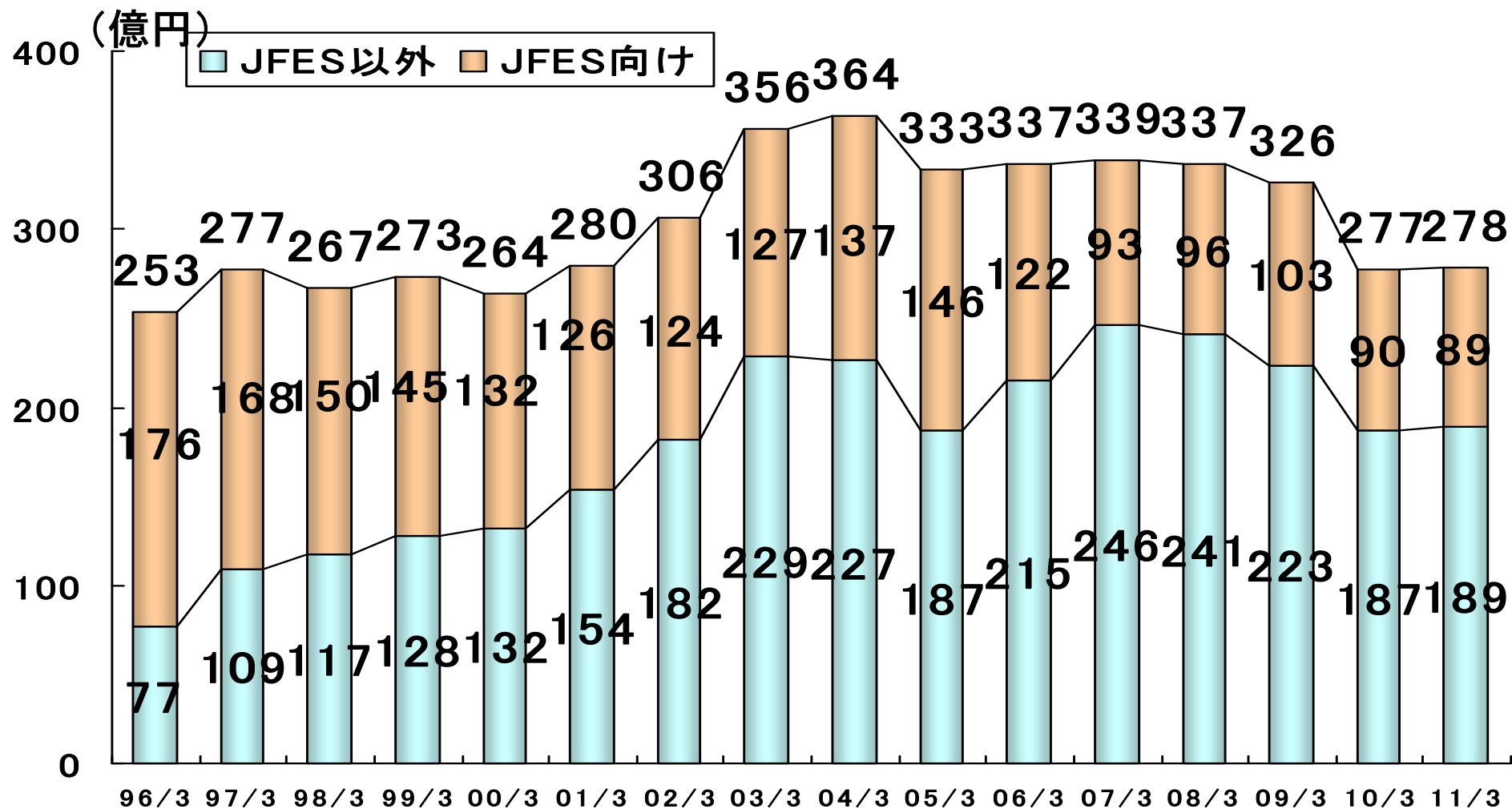
# 2011年3月期見込み

## 売上総利益増減の要因(連結:前期比)

百万円

売上総利益増減要因(○増益、△横ばい、×減益)	影響額
<p>＜鉄鋼事業向け、一般顧客向けSI事業、子会連結寄与分＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>△JFEスチール向け、同グループ会社向けおよび銀行向けで引き続き、売上高の減少を見込む。 →ビジネス間連携や技術要員投入による受注力強化に取り組む。</li> <li>△製造等向けは、基幹業務SIの拡大に注力するとともに、来期につながる企画提案、情報収集を強化。</li> </ul> <p>＜プロダクト・ソリューション事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○電子帳票、人事給与、原価、EC等は堅調。</li> <li>○食品は品質管理システム(Mercrus)以外の基幹SI案件にも発展を見込む。</li> </ul>	<p>( )内:下期</p>
<p>合計</p>	<p>106 (+300)</p>

# 売上高の推移



(注) '03/3期以降は連結売上高を記載

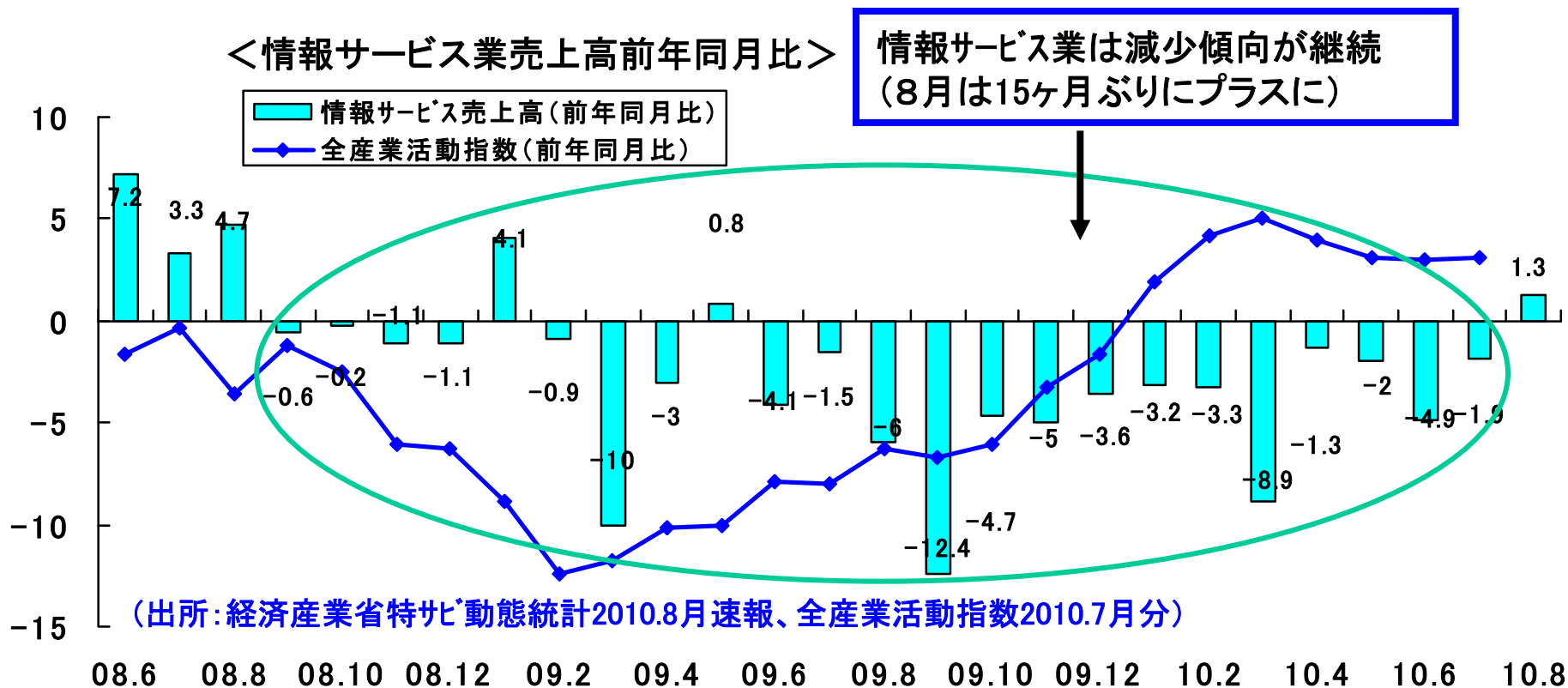
(見通し)

---

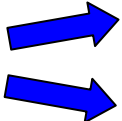







## Ⅲ. 今後の事業戦略について

## 「情報サービス業界売上高増減推移」

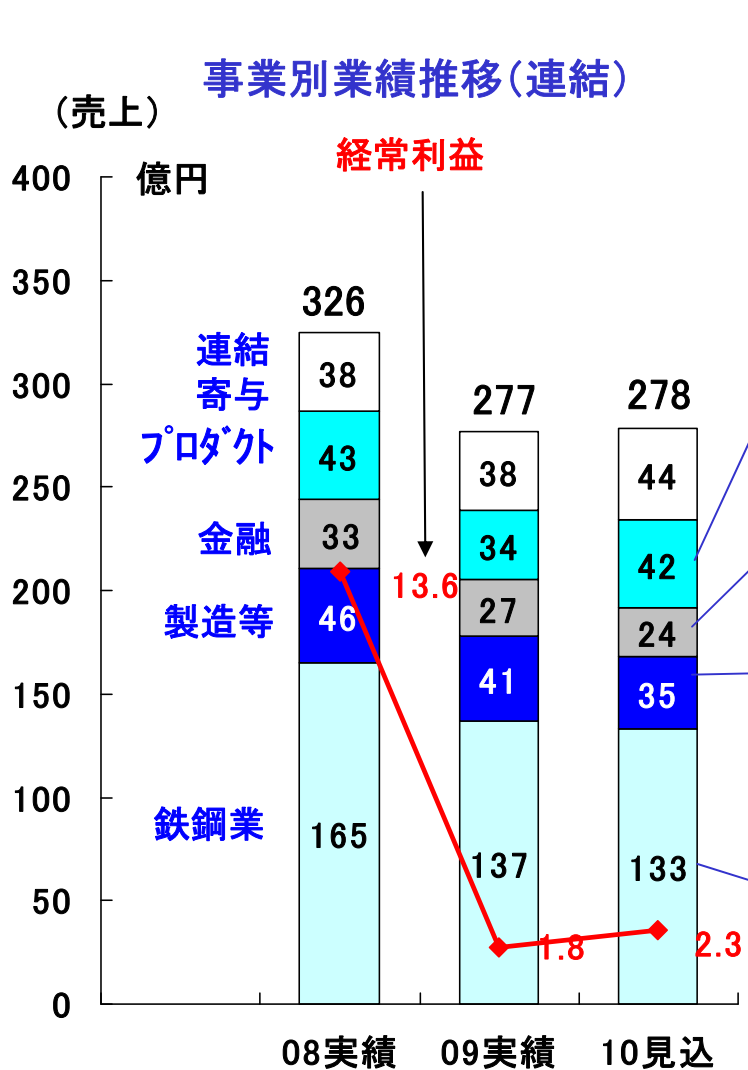
- 全産業活動指数が10/1月よりプラスに転じる中、**情報サービス業界売上は依然としてマイナス成長が継続。**（→8月は15ヶ月ぶりにプラスに）
- 企業業績回復によりIT投資の「検討」は再開。しかし**競合が激しく価格競争に。**
- 検討～購入までに時間がかかる **（IT投資予算が少なく、優先順も低い）。**



## 「顧客業種別IT投資動向」

業種		顧客業種別IT投資動向	
製造	鉄鋼		<ul style="list-style-type: none"> <li>・JFEスチール向けは増加の兆し。</li> <li>・グループ会社向けは大型投資終了により減少。</li> </ul>
	自動車		<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT投資抑止を継続。コストパフォーマンス要求は一層厳しい。</li> <li>・優先度の高いテーマに絞って推進も。</li> </ul>
	食品		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資意欲はまだら模様。「食の安全」への取組みは継続。</li> </ul>
	電機		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資がメインでITにはまわらず。重点分野に期待。</li> </ul>
	製紙		<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT投資抑制傾向が継続</li> </ul>
通信			<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい状況が続く見込み</li> </ul>
金融	銀行		<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT投資抑制傾向が継続</li> </ul>
	カード		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務量拡大に期待</li> </ul>

# 2008～2010の事業別収益推移



## <プロダクト>

- 電子帳票、人事給与、EC等は堅調
- 食品は品質管理システムから基幹SI案件にも発展
- 新たなNo1候補として原価を立ち上げ

## <金融>

× 金融主要顧客向け収益が減少

## <製造等>

- × 製造、通信主要顧客向け収益が減少
- 品質管理システム領域で高評価。

## <鉄鋼業>

× JFEスチール、Gr会社向け収益が減少



# 下期の課題・アクション

## 2010年度収益計画の達成に向けて

### 1. 受注／売上確保

- 堅調なプロダクト・ソリューション事業への注力
- 「ビジネス間連携」を強化し継続的に新規SI案件掘り起こす

### 2. コスト削減

- コスト削減対策の継続とアイドル発生コストのミニマム化

## 来期への備え

### 1. エクサ事業の円滑な承継とシナジー効果発揮への打ち手

- 要員の有効活用、技術・ノウハウ共有等

### 2. 新体制下でのビジネス戦略の検討

- 「脱価格競争」を指向したビジネスモデルの変革



2011～2014年度の新中期計画を策定予定

# ①-1. エクサ鉄鋼事業の承継について



- 2010年9月29日に吸収分割契約を締結。
- 円滑な事業承継、要員受入れの準備作業を両社共同で実施中。

## 分割契約の概要

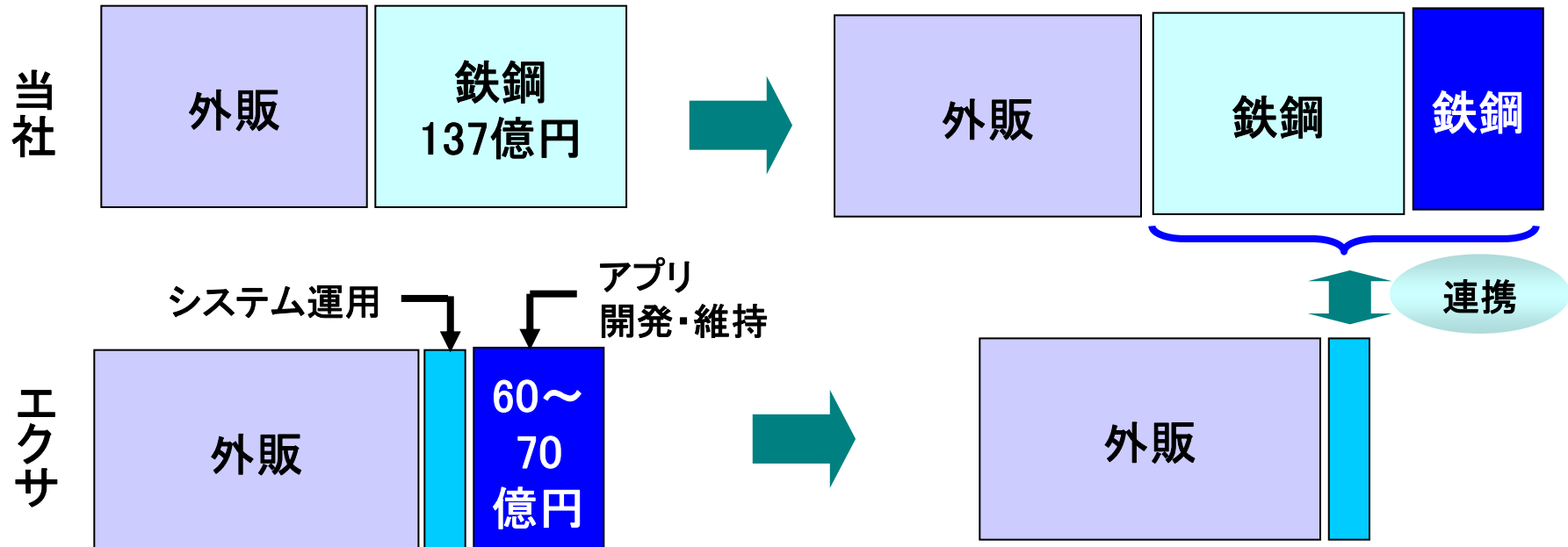
分割契約締結日	2010年9月29日
効力発生日	2011年4月1日
株主総会の承認	会社法第796条第3項の規定(簡易吸収分割)に基づき、株主総会の承認を得ずに本会社分割を行う予定。
会社分割の方式	エクサを分割会社とし、当社を承継会社とする吸収分割
会社分割に対する対価	8.5億円(デューデリジエンスに基づく第三者機関の価値算定範囲内)
承継する部門の事業内容	JFEスチールおよびそのグループ会社等向けアプリケーション開発・保守事業
承継する部門の売上高 売上総利益 資産・負債	(07/12期)67億円 (08/12期)73億円 (09/12期)57億円 (07/12期)9.8億円 (08/12期)8.7億円 (09/12期)5.1億円 資産合計:4.5億円 負債合計:3.6億円(09/12末時点)
業績への影響	算定中(2011年4月に公表予定)

# ①-2. エクサ鉄鋼事業承継の概要

## 鉄鋼ビジネス統合の概要

- ・2011年4月にエクサ鉄鋼向け事業(本社、京浜、福山)を分割し、当社が承継。
- ・対象はJFEスチールおよびグループ会社向けのアプリケーションシステム開発、維持。
- ・鉄鋼向けコンピュータシステム運用、および一般顧客向は非対象。
- ・対象売上高は約60億円～70億円、要員数は3百数十名。

従業員数: 1,530人 (2010年3月末) 株主: JFEスチール65%、その他株主35%



従業員数: 1,586人 (2010年1月1日) 株主: 日本IBM51%、JFEスチール49%

# ①-3. J-Smile (JFEスチール販生流システム)の展開

## システムリフレッシュにおける顧客のニーズ

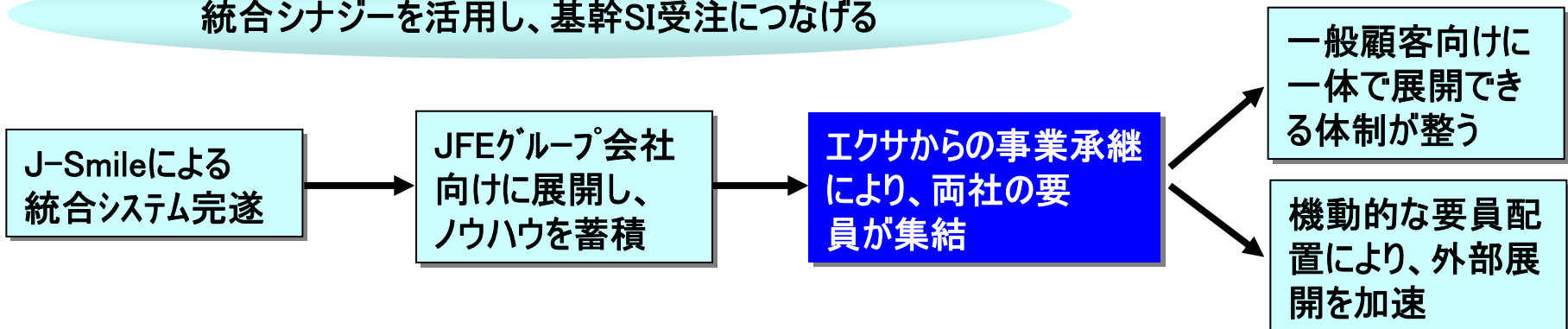
- ◆データモデルを整備し、正規化したデータ体系の元で、システムを構築したい。
- ◆将来を見据え、基幹システムをCOBOLからJAVAへ転換したい。
- ◆特定のベンダーに縛られないプラットフォームフリーの環境としたい。
- ◆ソフトウェア資産を有効活用するため、アプリケーションの再利用性を向上させたい。



## J-Smileの特徴

- ◆鉄鋼基幹システムを世界で初めて全面オープン系技術で開発
- ◆データモデリングと部品組立型開発採用  
→高品質、高開発生産性  
→ビジネス環境の変化に柔軟に対応
- ◆大手ベンダーに依存しない「自力開発 (JFEシステムズとエクサの共同開発)」
- ◆JFEGr各社にJ-Smileの適用を実施

統合シナジーを活用し、基幹SI受注につなげる



## ②-1. IT化ニーズと求められる技術・サービス

### 顧客の経営課題・IT化ニーズ

日本企業のグローバル展開の加速

企業再編・統合

・システム統合、リフレッシュ

コスト削減

・ITコスト削減(構築、維持・運用)  
→IT資産のスリム化、再構築

コンプライアンス、消費者保護、環境

・品質管理の仕組み強化等

人材活用・育成の強化

ITベンダーに求められる技術・サービス

### グローバルIT対応力

・グローバルSCMソリューション  
・海外拠点システム構築・維持

現状システムの分析・診断

→スリム化、再構築コンサル

ERP、パッケージ活用型のシステム構築

システム構築→サービス提供

(SaaS、PaaS、IaaS)

クラウドコンピューティング技術

品質管理、環境、人材活用等に対応したITソリューション

## ②-2. 当社の強み・特色とビジネス展開

### <特色①>

#### 鉄鋼システム構築・運用の経験

- ・高度な業務アプリ構築実績
- ・大規模システム統合のノウハウ(J-Smile)  
→データモデリングとオープン系基盤システム
- ・24H 365日運用管理

SCM、品質管理、損益管理等

### <特色②>

#### 独自プロダクトの開発・展開実績

##### <No1プロダクト>

- ・電子帳票
- ・食品品質管理

##### <No1プロダクト候補>

- ・原価

### <特色③>

#### 他社とのアライアンス

- ・EC/EDI、EAI、SCM

### <強化領域>

- ・ERP、BI、人事

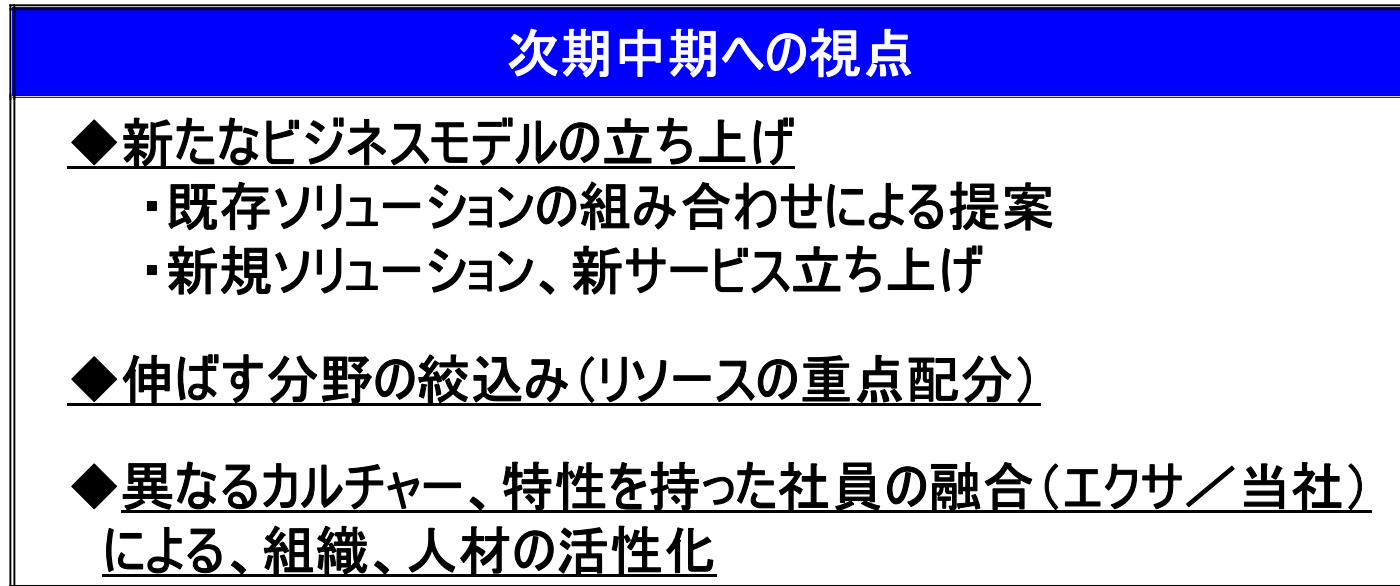
特色を強みとして活かす活動に注力

強みのあるビジネスへの  
リソース重点投入

強みを活かした  
ソリューションの開発

強みを活かした  
新たな市場の開拓

## ②-3. 次期中期への視点



2011/4月  
エクサ鉄鋼事業承継

進化  
深化

・顧客が求めるもの  
・当社の強みを活かす

次期中期計画(2011~2014)  
将来あるべき企業像

---

# 補足データ(単体損益)



# 2011年3月期上期の業績

(単体: 期初計画比)

単位: 百万円

	計画	実績	増減	
			金額	率
売上高	10,150	10,885	735	7.2%
営業利益	△ 480	△ 339	140	-
経常利益	△ 470	△ 315	154	-
(経常利益率)	△ 4.6%	△ 2.9%	-	-
四半期純利益	△ 280	△ 188	91	-

# 2011年3月期上期業績

(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2010/3 上期	2011/3 上期	増減	
			金額	率
売上高	11,589	10,885	△ 704	△ 6.1%
売上総利益	1,737	1,558	△ 179	△ 10.3%
(売上総利益率)	15.0%	14.3%	-	-
営業利益	△ 186	△ 339	△ 153	-
経常利益	△ 163	△ 315	△ 151	-
(経常利益率)	△ 1.4%	△ 2.9%	-	-
特別損益	31	-	△ 31	-
四半期純利益	△ 76	△ 188	△ 111	-

訴訟損失引当金戻入

# 2011年3月期上期



## 事業別売上内 (単体:前年同期比)

単位:百万円

	2010/3 上期	2011/3 上期	増減	
			金額	率
鉄鋼事業向け	6,550	6,470	△ 79	△ 1.2%
(内JFEスチール向け)	4,066	4,029	△ 36	△ 0.9%
一般顧客向け	3,625	2,652	△ 972	△ 26.8%
プロダクト外事業	1,414	1,762	348	24.6%
全社計	11,589	10,885	△ 704	△ 6.1%

# 2011年3月期 **上期**



## 経営指標 ( **単体: 前年同期比** )

単位: 百万円

	2010/3 上期	2011/3 上期	増減	
			金額	率
借入金	0	0	0	-
自己資本	8,106	8,072	△ 33	△ 0.4%
総資本	13,549	13,760	211	1.6%
自己資本比率	59.8%	58.7%	-	-
ROE	△ 0.9%	△ 2.3%	-	-
従業員数(人)	1,327	1,316	△ 11	△ 0.8%
売上高/人	8.7	8.3	△ 0.5	△ 5.3%
経常利益/人	△ 0.12	△ 0.24	△ 0.12	-

# 2011年3月期見込み(単体:前期比)

単位:百万円

	2010/3 実績	2011/3 見込	増減	
			金額	率
売上高	23,864	23,400	△ 464	△ 1.9%
売上総利益	3,809	3,920	111	2.9%
(売上総利益率)	16.0%	16.8%	—	—
営業利益	98	200	102	104.1%
経常利益	125	200	75	60.0%
(経常利益率)	0.5%	0.9%	—	—
当期純利益	187	90	△ 97	△ 51.9%
EPS(円/株)	2,381	1,146	△ 1,235	△ 51.9%

# 2011年3月期



## 事業別売上内 (単体:前期比)

単位:百万円

	2010/3 実績	2011/3 見込	増減	
			金額	率
鉄鋼事業向け	13,684	13,267	△ 416	△ 3.0%
(内JFEスチール向け)	8,406	8,442	36	0.4%
一般顧客向け	6,775	5,920	△ 854	△ 12.6%
プロダクト外事業	3,404	4,211	806	23.7%
全社計	23,864	23,400	△ 464	△ 1.9%

# 連結子会社KITシステムズの業績

## <会社概要>

- ・資本金:2億円
- ・設立:1986年10月
- ・株主:当社67.5%、JFE商事32.5%
- ・社長:清原 庄三 (会長:菊川 裕幸)
- ・従業員数217名(2010年9月末)
- ・事業内容:情報システム開発/運用、情報通信機器販売/付帯サービス

## <業績>

単位:百万円

	2010/3 上期	2011/3 上期	増減	2010/3 実績	2011/3 見込	増減
売上高	3,180	2,977	△ 202	6,445	6,452	6
経常利益	0	△ 40	△ 40	73	30	△ 43
四半期純利益	0	△ 21	△ 21	31	13	△ 18

- ・2011年3月期上期は、機器売上の減少により収益が低下。
- ・2011年3月期は効率化を推進し、黒字確保を目指す。

# JFEシステムズ株式会社

ご清聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。